

一般科学研究発表題目一覧

雑誌名	長野工業高等専門学校紀要
巻	53
ページ	3-6
発行年	2019-06-30
URL	http://id.nii.ac.jp/1051/00001058/



一般科学研究発表題目一覧

内山 了治

- Koichi Wakimoto, Toshifumi Dakeshita, Junichi Wakimoto, Toshiaki Watanabe, Saiki Terasawa, Masao Okuhara, Yuki Murata, Naoya Taki, Ryoji Uchiyama, Kazuki Ashida, Suchinda Jarupat Maruo, Koji Terasawa: Effects of triple-treatment trunk stretching on physical fitness and curvature of the spine. *Heliyon* 4 (2018), e00985, [1].
- 伊藤道郎, 内山了治他 「学生の健康科学」 鈴木製本所(2019.2), 79-96, [2].
- 内山了治, 児玉英樹, 小川裕樹: 長野高専体育・スポーツへの工学的な支援について, 関東信越地区高等専門学校体育・スポーツ研究会第 7 回大会, (2019.2), 8-9, [6].
- 小川裕樹, 内山了治, 児玉英樹: 高専体育における男女別習の有効性に関する研究—女子学生の体育授業の取り組みから—, 関東信越地区高等専門学校体育・スポーツ研究会第 7 回大会, (2019.2), 7, [6].
- 寺沢宏次, 熊谷朱里, 石倉沙里奈, 村田祐基, 渡辺敏明, 瀧直也, 内山了治, 芦田和毅: 一日の歩行運動量を向上させるための一考察—幼児から高校生及び高齢者の歩数調査から—, 長野体育学会第 54 回大会号, (2019.3) 8, [6].

大西 浩次

- Calchi Novati, S.; Suzuki, D.; Udalski, A.; Gould, A.; Shvartzvald, Y.; Bozza, V.; Bennett, D. P.; Beichman, C.; Bryden, G.; Carey, S.; Gaudi, B. S.; Henderson, C. B.; Yee, J. C.; Zhu, W.; Spitzer Team; Abe, F.; Asakura, Y.; Barry, R.; Bhattacharya, A.; Bond, I. A.; Donachie, M.; Evans, P.; Fukui, A.; Hirao, Y.; Itow, Y.; Kawasaki, K.; Koshimoto, N.; Li, M. C. A.; Ling, C. H.; Matsubara, Y.; Miyazaki, S.; Muraki, Y.; Nagakane, M.; Ohnishi, K.; Ranc, C.; Rattenbury, N. J.; Saito, To.; Sharan, A.; Sullivan, D. J.; Sumi, T.; Tristram, P. J.; Yamada, T.; Yonehara, A.; MOA Collaboration; Mróz, P.; Poleski, R.; Skowron, J.; Szymański, M. K.; Soszyński, I.; Kozłowski, S.; Pietrukowicz, P.; Ulaczyk, K.; Pawlak, M.; OGLE Collaboration; Albrow, M. D.; Chung, S.-J.; Han, C.; Hwang, K.-H.; Jung, Y. K.; Ryu, Y.-H.; Shin, I.-G.; Zang, W.; Cha, S.-M.; Kim, D.-J.; Kim, H.-W.; Kim, S.-L.; Lee, C.-U.; Lee, D.-J.; Lee, Y.; Park, B.-G.; Pogge, R. W.; KMTNet Collaboration; Spitzer Microlensing Parallax for OGLE-2016-BLG-1067: A Sub-Jupiter Orbiting an M Dwarf in the Disk, *The Astronomical Journal*, Volume 157, Issue 3, article id. 121, 15 pp. (2019.2), [1].
- Li, M. C. A.; Rattenbury, N. J.; Bond, I. A.; Sumi, T.; Bennett, D. P.; Koshimoto, N.; Abe, F.; Asakura, Y.; Barry, R.; Bhattacharya, A.; Donachie, M.; Evans, P.; Fukui, A.; Hirao, Y.; Itow, Y.; Masuda, K.; Matsubara, Y.; Muraki, Y.; Nagakane, M.; Ohnishi, K.; Saito, To.; Sharan, A.; Sullivan, D. J.; Suzuki, D.; Tristram, P. J.; Yonehara, A.: A study of the light travel time effect in short-period MOA eclipsing binaries via eclipse timing, *Monthly Notices of the Royal Astronomical Society*, Volume 480, Issue 4, p.4557-4577 (2018.11), [1].
- Han, C.; Jung, Y. K.; Udalski, A.; Bond, I.; Bozza, V.; Albrow, M. D.; Chung, S.-J.; Gould, A.; Hwang, K.-H.; Kim, D.; Lee, C.-U.; Kim, H.-W.; Ryu, Y.-H.; Shin, I.-G.; Yee, J. C.; Shvartzvald, Y.; Cha, S.-M.; Kim, S.-L.; Kim, D.-J.; Lee, D.-J.; Lee, Y.; Park, B.-G.; Pogge, R. W.; (The KMTNet Collaboration; Szymański, M. K.; Mróz, P.; Skowron, J.; Poleski, R.; Soszyński, I.; Kozłowski, S.; Pietrukowicz, P.; Ulaczyk, K.; Pawlak, M.; (The OGLE Collaboration; Abe, F.; Barry, R.; Bennett, D. P.; Bhattacharya, A.; Donachie, M.; Evans, P.; Fukui, A.; Hirao, Y.; Itow, Y.; Kawasaki, K.; Koshimoto, N.; Li, M. C. A.; Ling, C. H.; Matsubara, Y.; Miyazaki, S.; Munakata, H.; Muraki, Y.; Nagakane, M.; Ohnishi, K.; Ranc, C.; Rattenbury, N.; Saito, T.; Sharan, A.; Sullivan, D. J.; Sumi, T.; Suzuki, D.; Tristram, P. J.; Yamada, T.; Yonehara, A.; (The MOA Collaboration), *OGLE-2017-BLG-0039: Microlensing Event with Light from a Lens Identified from Mass Measurement*, *The Astrophysical Journal*, Volume 867, Issue 2, article id. 136, 9 pp. (2018.11), [1].
- Miyazaki, S.; Sumi, T.; Bennett, D. P.; Gould, A.; Udalski, A.; Bond, I. A.; Koshimoto, N.; Nagakane, M.; Rattenbury, N.; Abe, F.; Bhattacharya, A.; Barry, R.; Donachie, M.; Fukui, A.; Hirao, Y.; Itow, Y.; Kawasaki, K.; Li, M. C. A.; Ling, C. H.; Matsubara, Y.; Matsuo, T.; Muraki, Y.; Ohnishi, K.; Ranc, C.; Saito, T.; Sharan, A.; Shibai, H.; Suematsu, H.; Suzuki, D.; Sullivan, D. J.; Tristram, P. J.; Yamada, T.; Yonehara, A.; MOA

- ・衣笠健三, 井出秀美, 宮澤和彦, 御子柴廣, 羽多野聡美, 大西浩次: 国立天文台野辺山における星空撮影会, 日本天文学会 2018 年秋季年会 Y11b, (2018.9), [6].
- ・大西浩次: 天文の楽しみのネットワーク作り, 第 32 回天文教育研究会集録, (2018.8), 77-80, [6].
- ・大西浩次: 「長野県は宇宙県」星空ガイド講座プラン, 第 3 回「長野県は宇宙県」ミーティング, (2019.2), [6].
- ・大西浩次: 長野県は宇宙県、これからの展開へ, 天文教育, 157, Vol. 31 No. 2(2019.3), 13-14, [6].
- ・大西浩次: 表紙の言葉: 矮新星の新星爆発, 天文教育, 152, Vol. 30 No. 3(2018.5), 1-2, [5].
- ・大西浩次: 表紙の言葉: 金星、木星、土星、火星, 天文教育, 154, Vol. 30 No. 5(2018.9), 1-2, [5].
- ・大西浩次: 表紙の言葉: 夕暮れの夏の大三角, 天文教育, 155, Vol. 30 No. 6(2018.11), 1-2, [5].
- ・大西浩次: 表紙の言葉: 部分日食中の新月, 天文教育, 156, Vol. 31 No. 1(2019.1), 1-2, [5].
- ・大西浩次: 表紙の言葉: はやぶさ 2 の空間へ, 天文教育, 157, Vol. 31 No. 2(2019.3), 1-2, [5].
- ・大西浩次: Sense of the Universe 21; 新星を探す, Rikatan (理科の探検), 2018 年 4 月号, 通巻 31 号 (2018.4), 22-23, [5].
- ・大西浩次: Sense of the Universe 22; 星の流れに, Rikatan (理科の探検), 2018 年 6 月号, 通巻 32 号 (2018.6), 22-23, [5].
- ・大西浩次: Sense of the Universe 23; 火星の海に思う, Rikatan (理科の探検), 2018 年 8 月号, 通巻 33 号 (2018.8), 22-23, [5].
- ・大西浩次: Sense of the Universe 24; わたしたちは星の子, Rikatan (理科の探検), 2018 年 10 月号, 通巻 34 号 (2018.10), 22-23, [5].
- ・大西浩次: Sense of the Universe 25; 銀河鉄道に乗って(下), Rikatan (理科の探検), 2018 年 12 月号, 通巻 35 号 (2018.12), 22-23, [5].
- ・大西浩次: Sense of the Universe 26; ハッブル vs. ルメートル, Rikatan (理科の探検), 2019 年 2 月号, 通巻 36 号 (2019.2), 22-23, [5].

久保田 和男

- ・久保田和男: 五代十国と南郊儀礼—中原国家と南方列国における郊祀. 東方学, 137(2019.1), 44-61, [1].
- ・久保田和男: 二度の開封陥落と中心性の移動—中国都城史の転換点としての靖康の変, 歴史科学協議会

第 52 回大会, (2018.12), [6].

- ・久保田和男: 論五代宋初南郊礼儀変化, 7-16 世紀的信息沟通与国家秩序 第五次工作坊, (2018, 11), [6].
- ・久保田和男: 五代宋初における南郊儀礼の変化をめぐって, 早稲田大学史学会大会, (2018, 10), [6].

小池 博明

- ・小池博明, 半澤幹一: 稊論大江千里集(二), 長野工業高等専門学校紀要, 52(2018.6), 1-9, [5].
- ・半澤幹一, 小池博明: 稊論大江千里集(三), 共立女子大学文芸学部紀要, 65(2019.3), 21-41, [5].

板屋 智之

- ・ Takunori Minamisawa, Kyoichi Oshida, Nozomi Kobayashi, Akinobu Ando, Daiki Misawa, Tomoyuki Itaya, Minoru Moriyama, Kozo Osawa, Toshimitsu Hata and Yuta Sugiyama: Development of Electrode Materials of Lithium-Ion Battery Utilizing Nanospaces, C Journal of Carbon Research, 4(2)(23), (2018.4), 1-6, [5].
- ・ K. Oshida, T. Minamisawa, A. Ando, N. Kobayashi, D. Misawa, T. Itaya, Kozo Osawa, M. Murata, M. Moriyama, and T. Hata.: Preparation of novel materials for electrode of energy devices by electro spinning and nanohybrid, The World Conference on Carbon 2018 (CARBON2018), Madrid, Spain, (2018.7), [6].
- ・三澤大貴, 小林希, 押田京一, 村田雅彦, 板屋智之, 滝沢善洋, 大澤幸造: 電解紡糸を用いた異種物質混合トリチウムイオン電池電極材料への応用, 第 45 回炭素材料学会年会, P73(要旨 p.115), (2018.12), [6].
- ・板屋智之: 研究紹介—ナノ炭素材料の分散化と多孔質炭素繊維の作製と液晶性金属錯体(金属イオンを含む液晶材料)の合成—, エネルギー変換や貯蔵材料の開発に関する研究ネットワーク検討会議(群馬高専), (2019.2), [7].
- ・大澤幸造, 滝沢善洋, 板屋智之, 押田京一: 研究紹介—電界紡糸による EDLC 電極用 PAN 系炭素繊維の調製法—, エネルギー変換や貯蔵材料の開発に関する研究ネットワーク検討会議(群馬高専), (2019.2), [7].
- ・滝沢善洋, 押田京一, 小林希, 三澤大貴, 板屋智之, 大澤幸造, 畑俊充: 電界紡糸によるナノ空間の創製と応用, 第 389 回生存圏シンポジウム(京都大学), (2019.3), [6].

濱口 直樹

- ・濱口直樹, 高遠節夫: 空間図形の理解を助ける授業設計とその評価—スライド・タブレット・立体モデルの併用—, 数理解析研究所講究録2067, (2018. 4), 170-176, [6].
- ・N. Hamaguchi, S. Takato: Effective combinations of several types of teaching materials, CADGME 2018, University of Coimbra, Portugal, (2018.6), [6].
- ・濱口直樹, 高遠節夫: 立体モデルおよびタブレット・スライドを併用した空間図形教材の教育効果, 日本科学教育学会年会論文集42, (2018. 8), 91-92, [6].
- ・濱口直樹, 大島利雄, 高遠節夫: 多面体からできる回転体の教材作成とその利用について, 数理解析研究所講究録2105, (2019. 2), 19-25, [6].

児玉 英樹

- ・児玉英樹, 小川裕樹, 柳見沢宏: 今後の子どもたちのスポーツ環境を考える 地域と学校の連携〜「スポコミ×高専 バスケ塾」という試みについて〜, 長野県学校科学教育奨励基金研究結果報告, (2019. 1), [7].
- ・児玉英樹, 小川裕樹, 柳見沢宏, 春名桂, 関朋昭: 育成年代のスポーツ環境について—アンケート調査による「バスケ塾」という試みの検証—, 関東信越地区高等専門学校体育・スポーツ研究会第7回大会, (2019. 2), 10, [6].
- ・小川裕樹, 内山了治, 児玉英樹: 高専体育における男女別学習の有効性に関する研究—女子学生の体育授業の取り組みから—, 関東信越地区高等専門学校体育・スポーツ研究会第7回大会, (2019. 2), 7, [6].
- ・内山了治, 児玉英樹, 小川裕樹: 長野高専体育・スポーツへの工学的な支援について, 関東信越地区高等専門学校体育・スポーツ研究会第7回大会, (2019. 2), 8, [6].

林本 厚志

- ・林本厚志「一般複素擬楕円体と固有正則写像」2019年日本数学会年度年会, (2019. 3), [6].

高桑 潤

- ・効果的な統語法学習: 文の部分処理と文全体処理との比較. 第44回全国英語教育学会京都大会(2018. 8), [6].
- ・関係節縮約の適応範囲とその指導について. 全国高等専門学校英語教育大会第42回研究大会(2018. 9), [6].

- ・挫折しない英文法: 関係代名詞は簡単に理解できる. (幻冬舎). (2018. 11), [2].

小宮山 真美子

- ・Mamiko KOMIYAMA: “Fixing the ‘Original’ in the Dead Men’s House: Thinking Security in *The House of the Seven Gables* through Daguerreotype.” 『成蹊英語英文学研究』第23号(2019. 3), 1-28, [5].

鬼頭 葉子

- ・鬼頭葉子: 科研費 基盤研究(C)「20世紀から現代の欧米圏の動物倫理と日本哲学における「憐れみ」概念の比較研究」報告書, (2018. 5), [7].
- ・鬼頭葉子: シェーラーの『共感』概念とその宗教哲学的背景, 『長野工業高等専門学校紀要』(長野工業高等専門学校)第52号, §1-8, (2018. 6), 1-8, [5].
- ・鬼頭葉子: 書評 佐藤啓介著『死者と苦しみの宗教哲学—宗教哲学の現代的可能性—』, 『実存思想論集XXXIII ショーペンハウアーと実存』(実存思想協会), (2018. 6), 213-216, [1].
- ・鬼頭葉子: 生きることと食べること—現代キリスト教神学と動物倫理, 『福音と世界』2018年9月号(新教出版社), (2018. 8), 12-17, [3].
- ・鬼頭葉子: 動物に対する正義は可能か?, (ワークショップ『動物権理論の展開』), 2018年度日本法哲学学会学術大会(東京大学), (2018. 11), [6].
- ・鬼頭葉子: 『技術の倫理—技術を通して社会がみえる』(ナカニシヤ出版), (2018. 11), [1].

柳沼 晋

- ・Shin Yaginuma, Katsumi Nagaoka, and Tomonobu Nakayama: Controlling molecular condensation/diffusion of copper phthalocyanine by local electric field induced with scanning tunneling microscope tip, XXXIV European Congress on Molecular Spectroscopy (EUCMOS 2018), (2018.8), P5.10 244, [6].

赤瀬 正樹

- ・赤瀬正樹: 高校生英語学習者の語彙学習を説明する情意要因の変性. 第48回中部地区英語教育学会. 静岡研究大会発表. 静岡大学. (2018. 6), [6].
- ・上西幸治, 中澤敏浩, 松本陵磨, 赤瀬正樹: 日本・中国・タイの英語教科書における完了形についての研究. 日本言語教育 ICT 学会. 東京研究大会発表. 拓殖大学. (2018. 9), [6].
- ・赤瀬正樹: 高校生英語学習者の語彙学習を説明する

情意要因の可変性. 中部地区英語教育学会紀要第48号(2019.1), 9-16, [1].

- ・ 上西幸治, 中澤敏浩, 松本陵磨, 赤瀬正樹: 日本・中国・タイの英語教科書における完了形についての研究. 日本語教育 ICT 学会研究紀要第6号. pp.9-20 東京研究大会発表. 拓殖大学. (2019.3), [1].

二星 潤

- ・ 二星潤: 九世紀における文人の国司任官—菅原道真の讃岐守任官を手がかりに—, ヒストリア 267, (2018.4), 28-47, [1].
- ・ 二星潤: 対策及第者の労と昇進, 続日本紀研究会, (2018.11), [6].

小川 裕樹

- ・ 小川裕樹, 岩田靖, 有賀功太郎: 小学校体育における持久走授業の教材開発と実践的研究, 長野体育学会第54回大会, (2019.3), [6].
- ・ 小川裕樹, 内山了治, 児玉英樹: 高専体育における男女別修の有効性に関する研究—女子学生の体育授業の取り組みから—, 関東信越地区高等専門学校体育・スポーツ研究会第7回大会, (2019.2), [6].
- ・ 内山了治, 児玉英樹, 小川裕樹: 長野高専体育・スポーツへの工学的な支援について, 関東信越地区高等専門学校体育・スポーツ研究会第7回大会, (2019.2), [6].
- ・ 児玉英樹, 小川裕樹, 柳見沢宏, 春名桂, 関朋昭: 育成年代のスポーツ環境について—アンケート調査による「バスケット」という試みの検証—, 関東信越地区高等専門学校体育・スポーツ研究会第7回大会, (2019.2), [6].
- ・ 小川裕樹: 学生の健康科学(分担執筆, 第8章安全な生活), 鈴木製本所, (2019.2), 128-146, [2].

滝沢 善洋

- ・ Yoshihiro Takizawa, Shigeki Inukai, Takumi Araki, Rodolfo Cruz-Silva, Josue Ortiz-Medina, Aaron Morelos-Gomez, Syogo Tejima, Ayaka Yamanaka, Michiko Obata, Auppatham Nakaruk, Kenji Takeuchi, Takuya Hayashi, Mauricio Terrones, Morinobu Endo: Effective Antiscalting Performance of Reverse-Osmosis Membranes Made of Carbon Nanotubes and Polyamide Nanocomposites, ACS Omega, 3(6) (2018.6), 6047-6055, [1].
- ・ 滝沢善洋: わこうどの声, 炭素, No. 283(2018.6), 140, [7].
- ・ Kenji Takeuchi, Yoshihiro Takizawa, Hidenori Kitazawa,

Moeka Fujii, Kaoru Hosaka, Josue Ortiz-Medina, Aarón Morelos-Gómez, Rodolfo Cruz-Silva, Masatsugu Fujishige, Noboru Akuzawa, Morinobu Endo: Salt rejection behavior of carbon nanotube-polyamide nanocomposite reverse osmosis membranes in several salt solutions, Desalination, 443, (2018.10), 165-171, [1].

- ・ Rodolfo Cruz-Silva, Aaron Morelos-Gomez, Josue Ortiz-Medina, Yoshihiro Takizawa, Ayaka Yamanaka, Michio Katouda, Syogo Tejima, Kenji Takeuchi, Takuya Hayashi, Mauricio Terrones, Morinobu Endo: Antifouling and High-Permeation Mechanisms in Reverse Osmosis Nanocomposite Membranes made of Carbon Nanotubes and Aromatic Polyamide, 2018 MRS FALL MEETING & EXHIBIT, NM01.07.43, (2018.11), [6].
- ・ 三澤大貴, 小林希, 押田京一, 村田雅彦, 板屋智之, 滝沢善洋, 大澤幸造: 電解紡糸を用いた異種物質混合とリチウムイオン電池電極材料への応用, 第45回炭素材料学会年会, P73(要旨 p.115), (2018.12), [6].
- ・ 滝沢善洋: 複合材料とマテリアルデザイナー—機能化・スマート化と応用, 第56回技術交流会及び第30回地域活性化研究会(長野高専), (2019.1), [7].
- ・ 滝沢善洋: 研究紹介—機能性ナノファイバーマットの作製—, エネルギー変換や貯蔵材料の開発に関する研究ネットワーク検討会議(群馬高専), (2019.2), [7].
- ・ 大澤幸造, 滝沢善洋, 板屋智之, 押田京一: 研究紹介—電界紡糸によるEDLC電極用PAN系炭素繊維の調製法—, エネルギー変換や貯蔵材料の開発に関する研究ネットワーク検討会議(群馬高専), (2019.2), [7].
- ・ 滝沢善洋, 押田京一, 小林希, 三澤大貴, 板屋智之, 大澤幸造, 畑俊充: 電界紡糸によるナノ空間の創製と応用, 第389回生存圏シンポジウム(京都大学), (2019.3), [6].

牧 千夏

- ・ 牧千夏: 創始期の農民文学論争: プロレタリア文学・郷土芸術・文明批評, 国語と国文学, 95(6) (2018.6), 37-51, [5].
- ・ 牧千夏: だれのための農民芸術論か——宮沢賢治の階層と地域社会における役割——, 日本近代文学会秋季大会, 於: 岩手県立大学, (2018.10), [6].
- ・ 牧千夏: 気象学のつくる詩学: 宮沢賢治『春と修羅 第三集』の表現分析, 日本文学, 67(12)

(2018.12), 23-35, [5].

堀内 泰輔

- 堀内泰輔, 宮寄敬: IoT 社会に求められる技術力と創造性を育むフィジカル・コンピューティング教育の実践, 長野工業高等専門学校紀要 52, 2-4 (2018.6), 1-6, [5].
- 堀内泰輔, 宮寄敬, 西正明, 山本博章: 高専における, IoT 社会に求められる技術力と創造性を育むフィジカル・コンピューティング教育の実践, 日本産業技術教育学会第 61 回全国大会 (信州) 講演要旨集, 情報 2 (1B12), (2018.8), [6].
- 堀内泰輔, 宮寄敬, 西正明, 山本博章: Raspberry Pi を用いた並列プログラミング実習環境の構築, 日本産業技術教育学会 第 34 回情報分科会 (宇都宮) 研究発表会 講演論文集, (2019.3), 81-84, [6].